

ひろば大代

NO.420

大代まちづくり
センター

H26. 7.23

「大江高山きずな館」

整備について

大代高山会 佐藤哲朗

かねてから計画していましたが体験交流施設「大江高山きずな館」整備事業費315万円は、ふるさと島根定住財団の地域づくり応援助成金事業で200万円が採択されました。

自己資金115万円を東京石見・関西高山会を始め大代町出身の皆様寄付をお願いしましたところ、たくさんの方々にご理解をいただき、7月10日現在130名156万8千円のご厚志を戴きました。皆様のふるさとに対する厚い想いを大代町の活性化の為に有効活用させていただきます。

大代町へ帰省の折には是非活用いただきたいと思えます。今年の8月中については帰省者を対象にご利用いただきます。8月1日から予約を受付します。

「大江高山きずな館」利用について

住所:大田市大代町大家1706

収容人数:一日一組限定 最大25人(民家一軒貸切)

駐車場:有

利用料金:

一人素泊り金額 (一泊目)	1人～4人	5人～8人	9人～
	¥2,000	¥1,800	¥1,500

二泊目から20%引き

その他:冷暖房 温水洗浄トイレ 風呂 冷蔵庫 電磁調理器 炊事用具完備

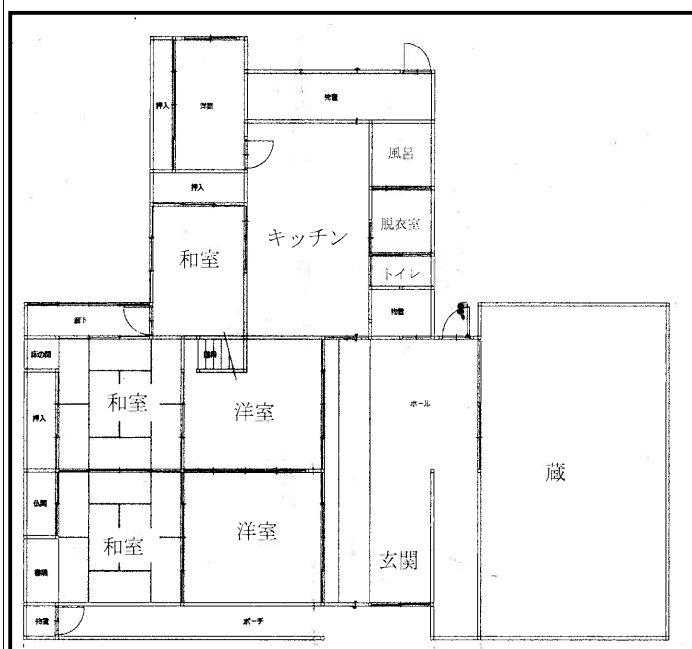
お盆期間中は殺到が予想されます、早めに申し込みください

体験・食材等については事前に相談ください

申込先:大代高山会 TEL・FAX 0854-85-2204

大田市大代町大家1579 大代まちづくりセンター内

一日一組限定ですので、お盆期間中は友人同士で誘い合つてのご利用をお待ちします。なお恒例の都市とふるさと交流会は29回目を迎え8月15日(金)に開催予定です。



体験交流施設「大江高山きずな館」

|| シリーズ③ ||

神楽への想い

この作文は昨年の夏休みに子供達が書いてくれたものです。学年は現在の学年です。



「大江高山神楽社中」

大田小6年 和田晃樹

ぼくは、きよ年の5月にこの社中にはいりました。神楽をとおして、ほかの学校の人と友達になれたり、友達ともっと仲良くなれました。神楽をやっているうちに、物語にきょうみをもつて、調べてみたりいろいろと歴史や、神楽にくわしくなりました。

4人のメンバーで「塵輪」をならい都市交流で舞いました。4人で、息をあわせるのはむずかしいけど「ハイ」「1、2」など声がけしました。いきや、舞があうと「よっしやー」「やったー」と都市交流で思いました。お客さんも、お盆で都会から帰っていたかたが多く、よろこんでもらいました。もっとももっと練習をして上手になって、石見神楽の「大蛇」をやりたいです。もっとももっと友達が社中にはいって大人になっても神楽をつづけ、伝統文化を守っていききたいです。



だいすきなかぐら

池田小3年 土本ひろと

ぼくは、たくさんのかぐらをおしえてもらっています。なつは、あつくてたいへんだけど、みんなががんばれといってくれるので、ぼくもやる気ができます。そして、ほんばんではおきやくさんによるこんでもらえるように、もっとももっとれんしゅうをがんばりたいです。かぐらを見たことのない人にかぐらを知ってもらおうように、大きくなってぼくは、かぐらをつづけたいとおもいます。

十七夜の思い出

上市 横田美恵子



毎年十七夜になると、すぐに思い出すのは小学校三年の夏休み前の七月十七日のことです。

その当時、学校も夏休み前で授業は午前中でお休みでした。数日前から、「隣の家の十七夜祭りに行かせて、三年になったから大丈夫だから」と、やっと許可をもらいました。勿論一人ではなく、近所の男の子と一緒にならということでした。

三原の家からの距離は子供の足で歩くには結構ありましたが、「夕方までには絶対帰るから」と、お小遣いをもらって大喜びで出かけました。

大家に着いて、当時の中学校前くらいから、道路いっぱいの人々が左右に分かれて行き来して、友達と離れないよう気をつけていました。けれど、友達が親戚の子と出会い、その子の「女と一緒に歩くとおかしいで」の一言で、どこかに連れて行かれ、離れ離れになってしまいました。

屋台がいっぱい、人々もいっぱい、茶碗屋、饅頭屋、ガマの油売り、わたがし屋、おもちゃ屋、バナナの叩き売りと…賑わっていました。いくら探しても友達は見当たりません。山道も一人では寂しくて帰れません。

日暮れになって、郵便局前あたりで途方にくれていると八反田の親戚の子が見つけて「うちにきんさい」と言ってくれて、困っていた私は「じゃ、行く」と簡単に付いて行きました。

友達は、私を必死に探したのにいなくて、暗くなるし、山道を泣き泣き後ろを振り返りながら家に帰って行ったそうです。でも家に帰っていないのが分かり、「はぐれてみえちゃんがおらんようになった」と言うと、家族にものすごく叱られ、すぐ両親と一緒に私の家に謝りにきてくれて、事情を聞いた父母はきつと親戚にいるだろうと、夜道を迎えに来てくれました。

一方、すっかり泊まる気分ではしゃいでいた私は迎えに来た家族を見てびっくり！すぐに連れて帰られ、帰りは説教をされながら暗い山道を歩いて、ちようちんの明かりの中、昼間の疲れ

もあって、途中から背負われて寝ながら帰ったという思い出があります。友達に会うと「あの時は親にえつと叱られて、あんたがおらんようになって、どがあしようかと思ったんで…」と十七夜祭りの話がでます。

今の時代はすぐ電話も出来るし、車もあるけど、五十数年前は連絡の術もなく、家族はどんな思いをしたのだろうか？あの友達にも心配をさせてしまつて申し訳なかつたと思っています。勿論、それからは二人とも大人と一緒にでないと、どこにも行かせてもらえませんでした。

紙すき体験道場のお知らせ

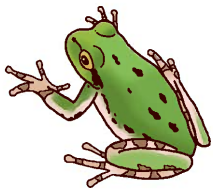
一万円札の会

8月14日から、紙すき体験道場（有料）を開設します。予約は一週間前までにしてください。（詳細は申込時に090-4694-9261 渡利まで

|| 今月のトピックス ||

田んぼの生きもの

調査が行われました



六月二十一日大田市内小学生とその保護者五十数名がJA石見銀山主催のさまざまな体験を通じて農業を学ぶ「あぐりスクール」第四回「田んぼの生きもの調査」が飯谷地区農事組合法人やまべの田んぼで行われました。四班に分かれた子供たちは手網とバケツで悪戦苦闘しながらカエル・オタマジヤクシやアカハライモリなどのさまざまな生きものを捕まえました。中には素手でつかむ子供もいました。班ごとに捕えた生きものを選別し、報告と感想を発表しました。

その後、全員でJA女性部大代支部が作ったエコ米やまべのコシヒカリのおにぎりや、大代味噌生産組合の大代高原味噌と地元野菜を使った豚汁で昼食をとりました。やまべのむすびは甘味があり、豚汁も大好評でたくさん

おかわりをして豚汁の鍋は空っぽになりました。

|| 賑わった十周年イベント ||

そば道場&直売所



七月六日(日) 十周年イベントがそば道場と直売所前にて沢山の方々に来ていただいて、盛大に行われました。手作りの「まき」も蒸しあがるのを待っていたくほど盛況で、焼きとうもろこし・焼きとりなども早々と完売していききました。

そば道場も普段の4倍のお客様でした。有難うございました。またのご来店をお待ちしております。



|| やまべ泥落とし ||

七月六日(日)、農事組合法人やまべの泥落としが飯谷の作業倉庫で、沢山の大人・子供が参加して行われました。

組合員家族総出で手作りのそうめん流し・焼きとり・まき・やまべのエコロジー米を使ったおにぎりなどが振舞われました。また、大江高山神楽社中の舞も披露されて、舌鼓をうちながら楽しい一日を過ごしました。

|| 十七夜 ||

御神幸2年ぶりに復活!

高齢化により重い神輿の担ぎ手がなく、昨年から中止されていた十七夜の御神幸は、米原様(東京在住)から頂いた子供みこしを改良して御神体を移し町内を練り歩き、まちづくりセンターグラウンドで神事が行われました。



|| 俳句 ||

あすなる句会

柿田 横手いちえ

冷奴 一人に半丁 紫蘇一枚

久々に 雨の音して 半夏生

八反田 森 信子

歯の悪しき 夫の好みの 冷奴

卯の花や 時の速さに 老ひぬれば

椿 花田時子

曾孫の 二歳を祝ふ 柏餅

半年が 矢の如くすぎて 夏きざす

下市 今田文子

一品は 夫の夕餉に 冷奴

青田風 波を起こして 谷渡る

川上 岩田律枝

紫陽花や 母の思ひ出 蘇る

里住まひ 一人の夕餉 冷奴

椿 柿丸寿枝

賜はりし 新茶の湯気の 真直に

紫陽花の 紫こぼす こぬか雨

本郷 和田喜和子

ミニトマト 次々採りて 手のくぼへ

8月行事予定

* * * * *

▼ 15日(金) 都市とふるさとを

結ぶ交流会

▼ 19日(火) さくらんぼ教室

▼ 23日(土) 連合自治会



第29回都市とふるさとを結ぶ交流会

日時:平成26年8月15日(金)18時～

場所:旧大代小学校

18時00分～18時15分 開会行事

18時15分～20時30分 大江高山神楽

20時30分～21時30分 盆踊り

21時30分～

参加賞 ポン菓子 抽選券付

抽選 大代町特産品

屋台:17時～

はぐるま会…十割そば

なつみ会…焼き鳥・かき氷・生ビール

婦人会…むすび・中華おこわ

